

TP-SKY

「一の隣地方式」操作の手引き



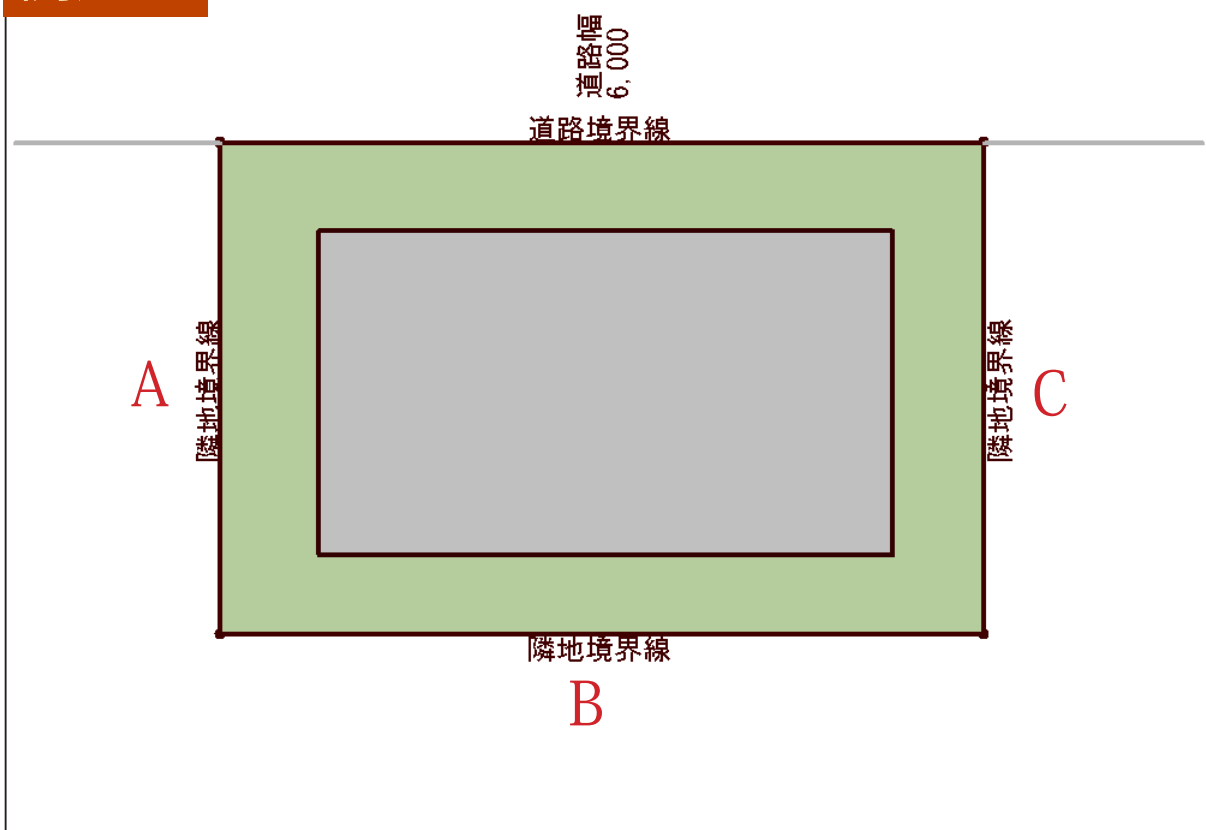
東京都新宿区高田馬場 2-14-5

URL <http://www.com-sys.co.jp>

■一の隣地方式

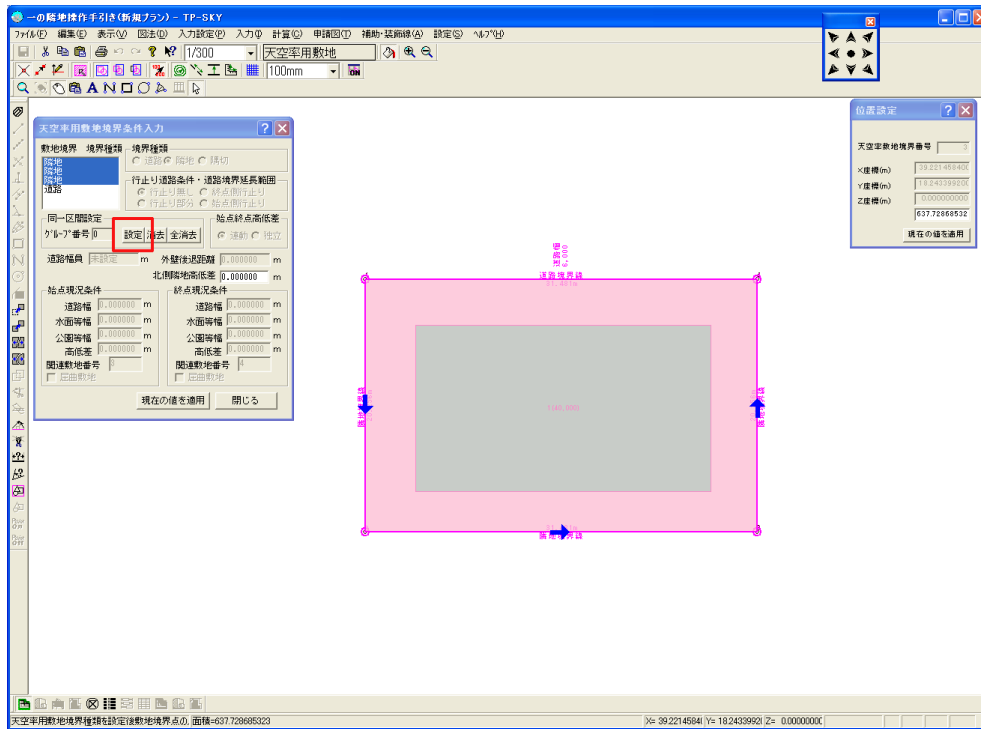
*一の隣地方式では、まず一の隣地として扱う隣地の「同一区間」設定が必要です。算定線は敷地全体を包括して出力するため、不要部分の削除を行います。

例題 1

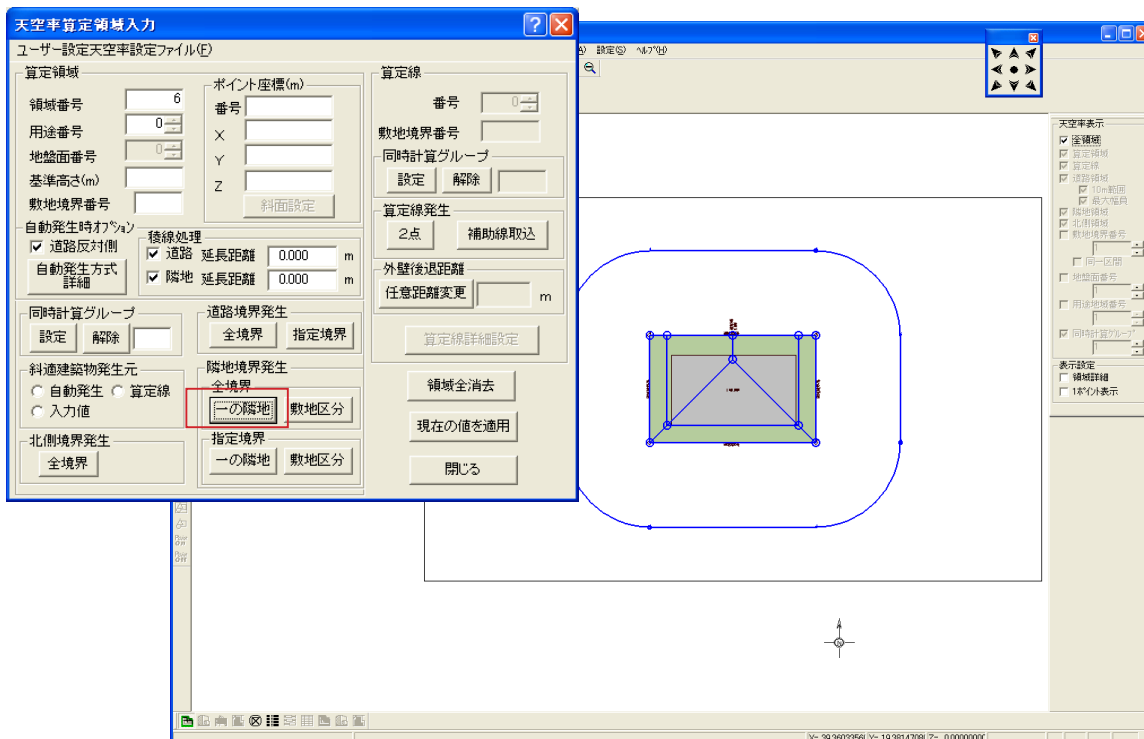


上図の隣地境界線 A・B・C を「一の隣地」として取り扱う場合の操作を解説します。

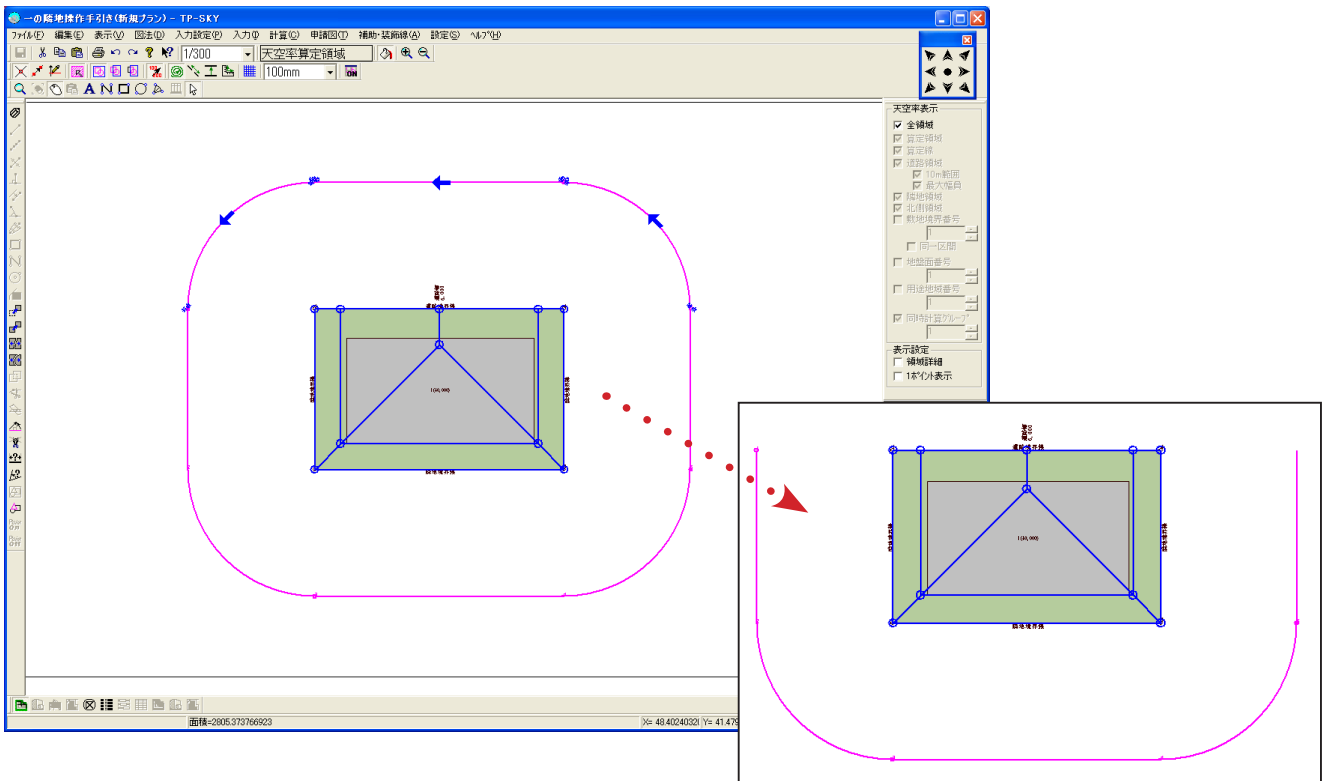
- 1) 「天空率用敷地」で同一区間処理をする隣地境界線を < Shift + クリック > で同時選択状態にします。ダイアログボックスの同一区間設定欄「設定」ボタンを押します。



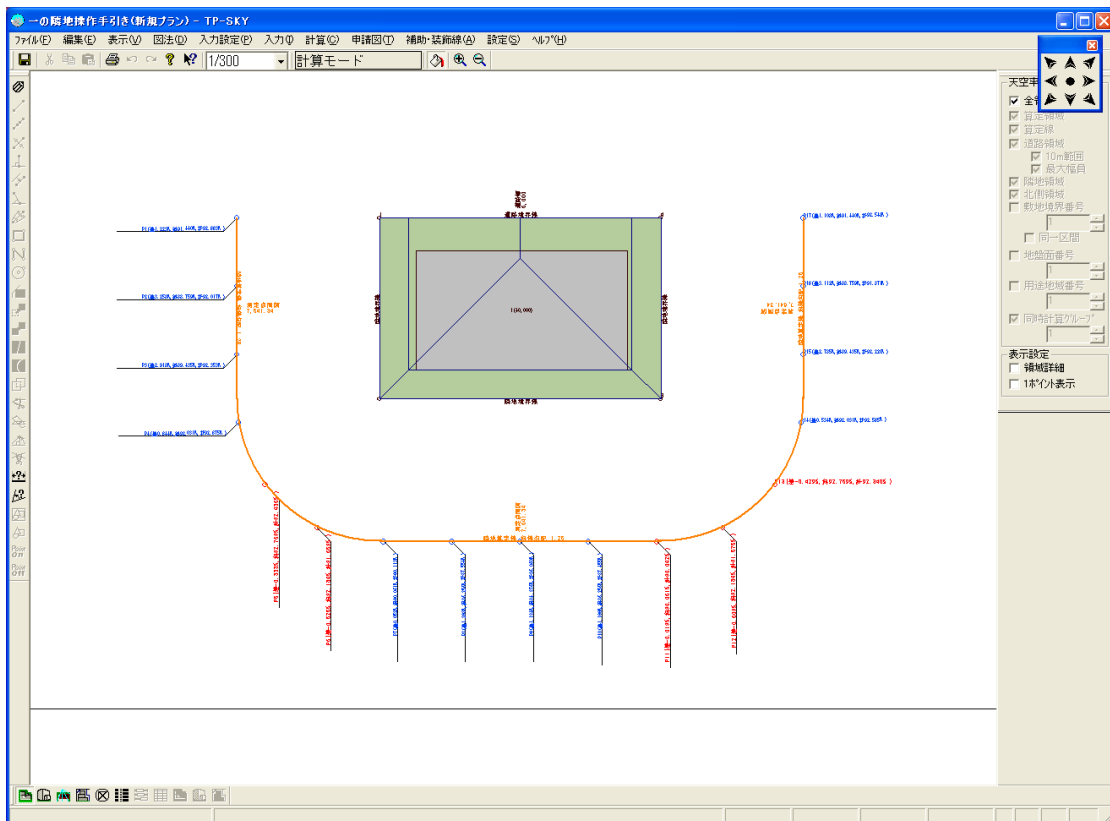
- 2) 「天空率算定領域」でダイアログ内「隣地境界発生」欄「一の隣地」ボタンを押します。敷地を包括するように算定線が発生します。



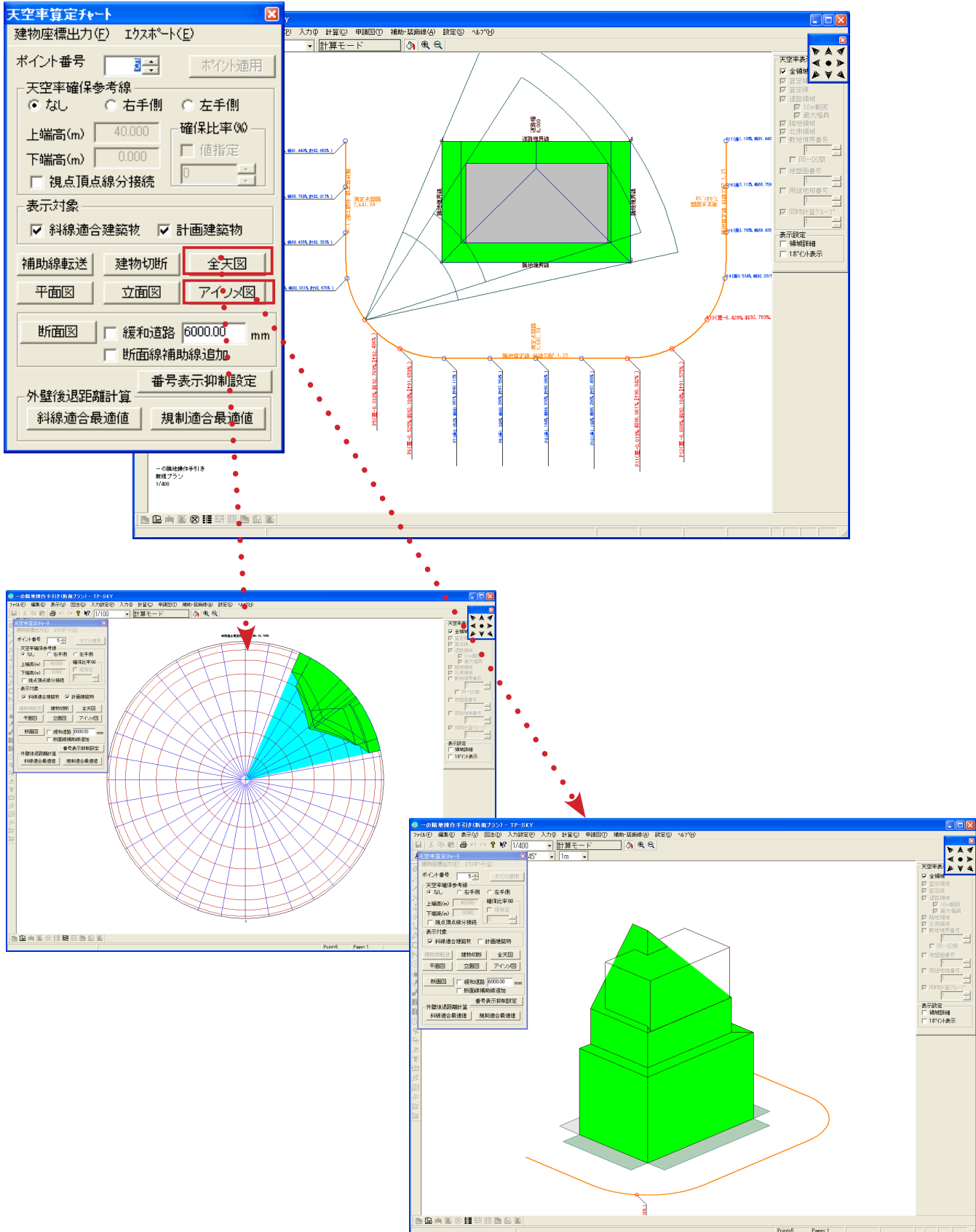
3) 不要な算定線 (道路部分に出た算定線) を消去します。算定線をクリック (連続して選択する場合は< Shift+ クリック >) し、Delete キーで消去します。



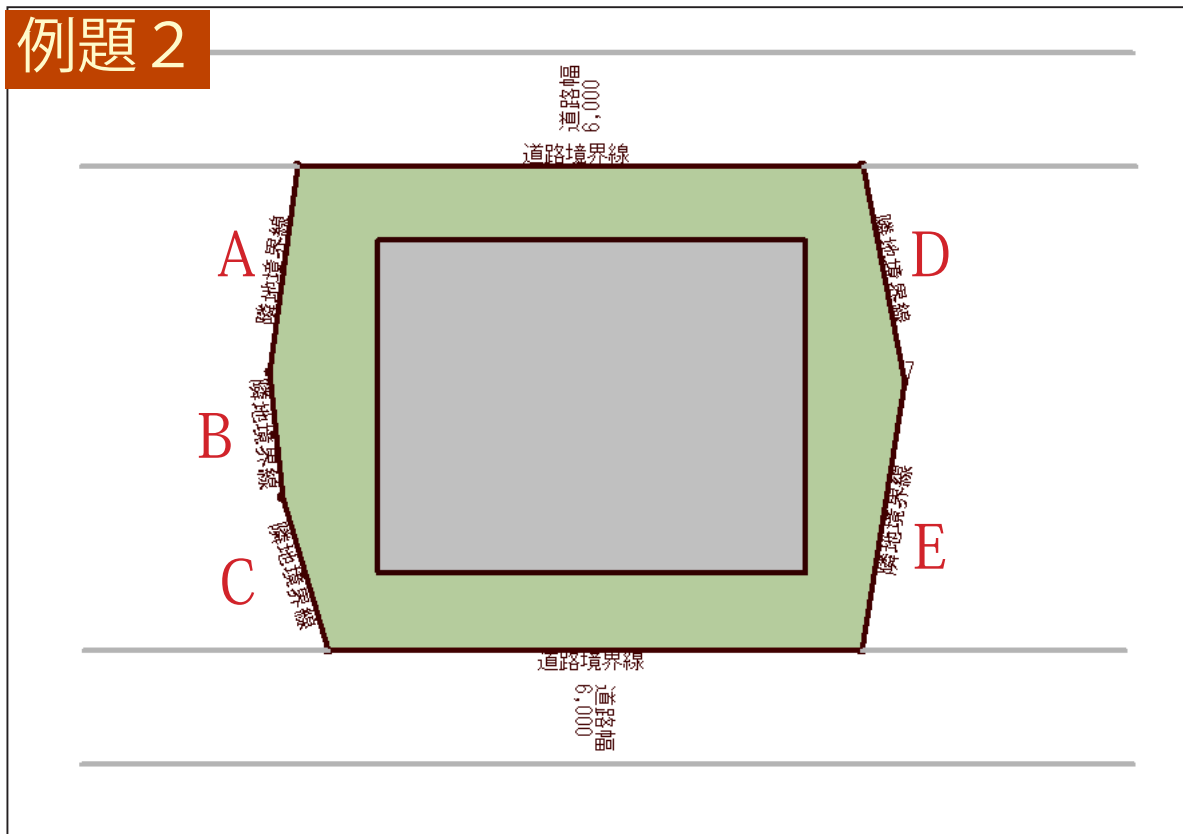
4) 「計算」 - 「天空率」で算定ポイントを均等発生し、天空率計算を実行します。



5) 「図法」 - 「天空率算定チャート図」より任意の算定ポイントを指定し、アイソメ図、全天図等で適合領域および形状を確認します。

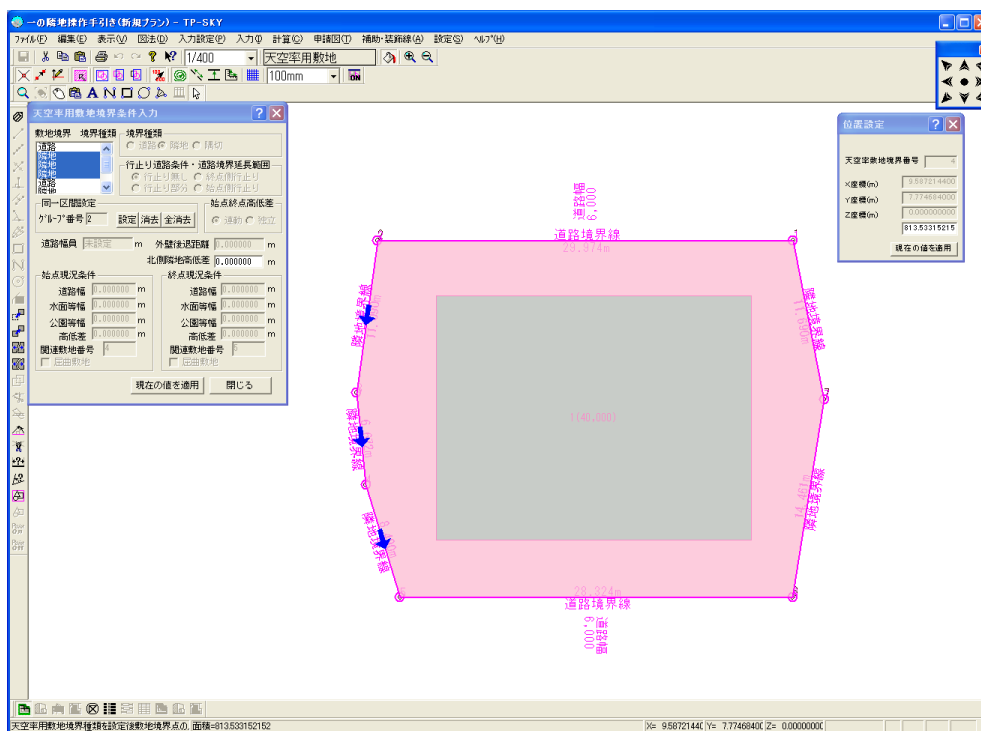


例題 2

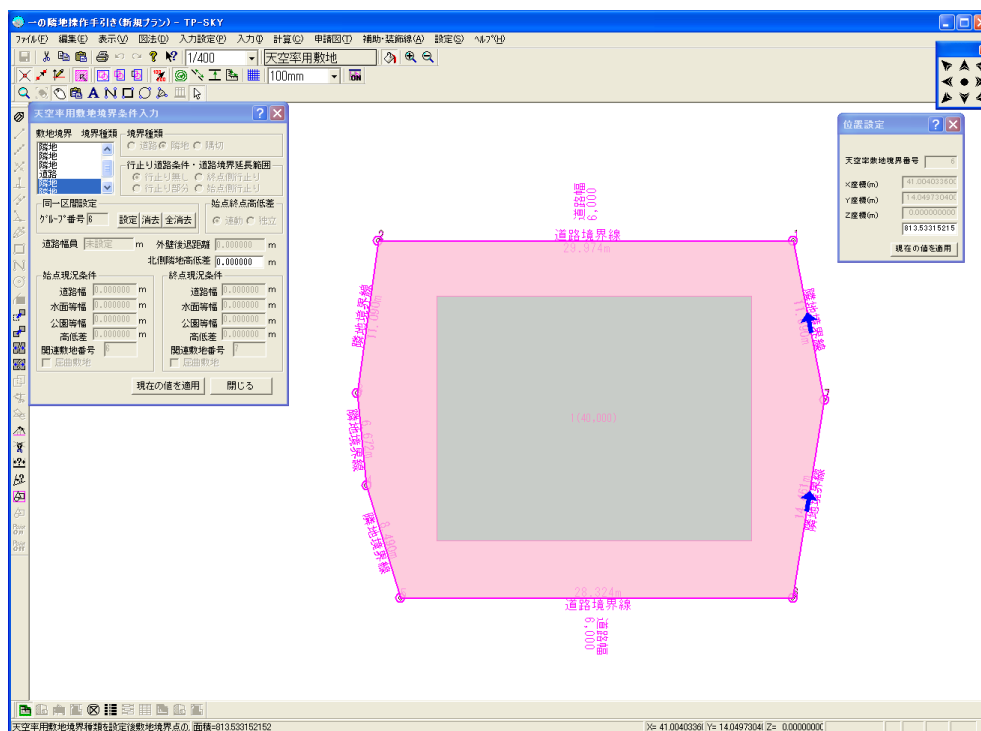


上図の隣地境界線は上下を道路に挟まれているため A-E を同一隣地として扱うことはできません。A~C、D~E の 2 グループの 1 の隣地となります。

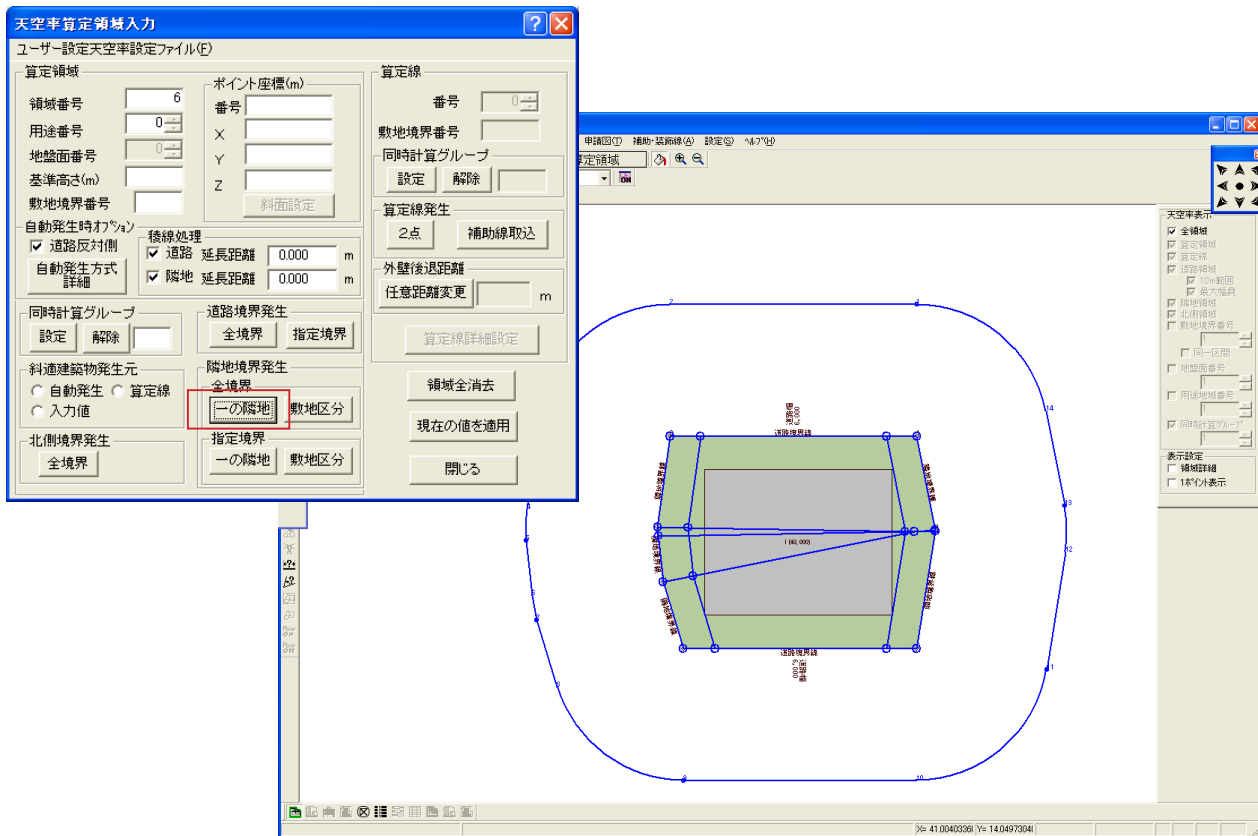
1) 「天空率用敷地」で同一区間処理をする隣地境界線を< Shift + クリック >で同時選択状態にします。本例の場合は左図 A ~ C の隣地境界線を同一区間設定します。



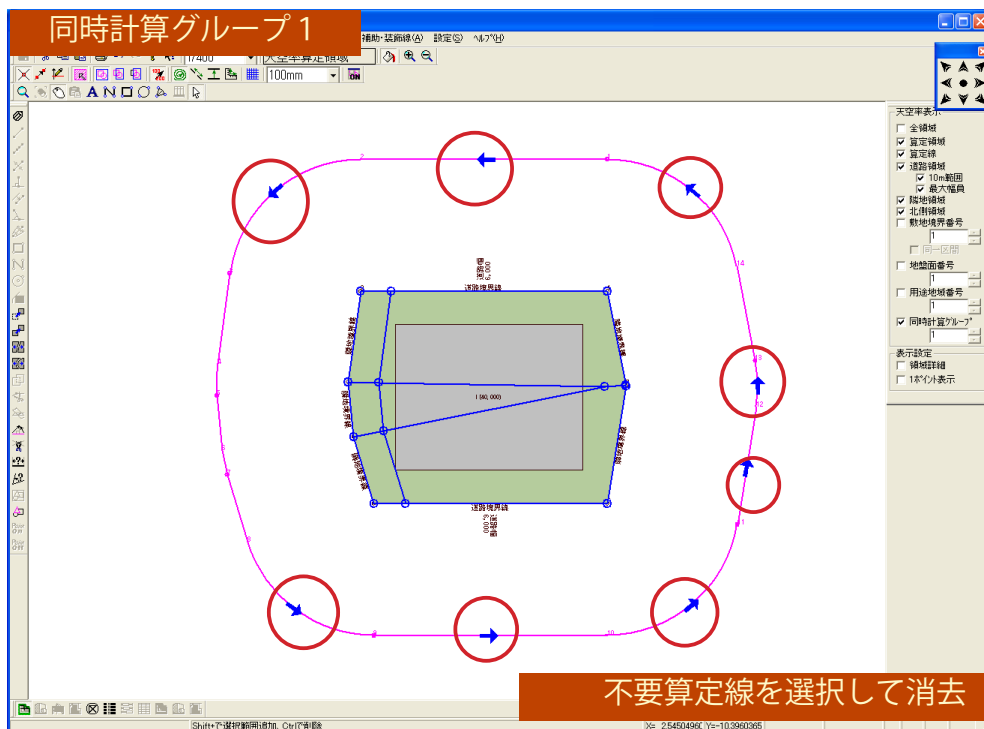
2) 同様に、左図 D~E の隣地境界線を同一区間設定します。

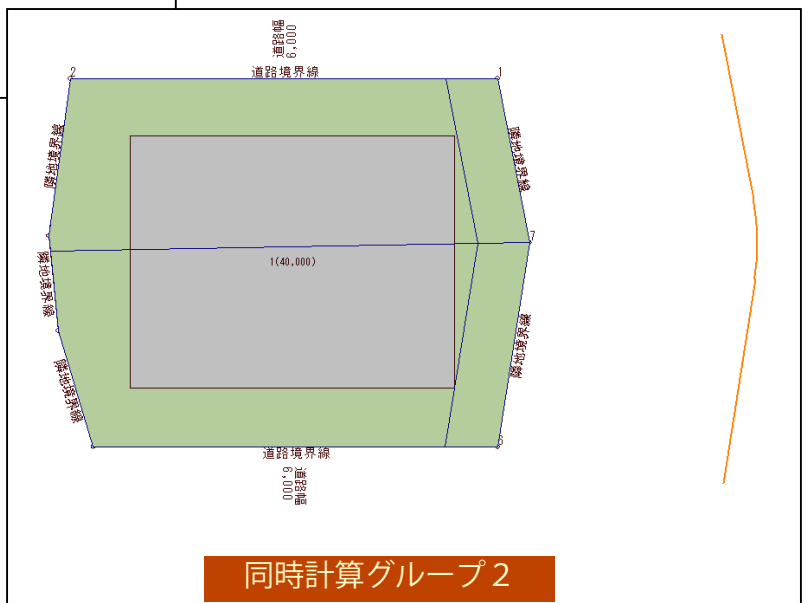
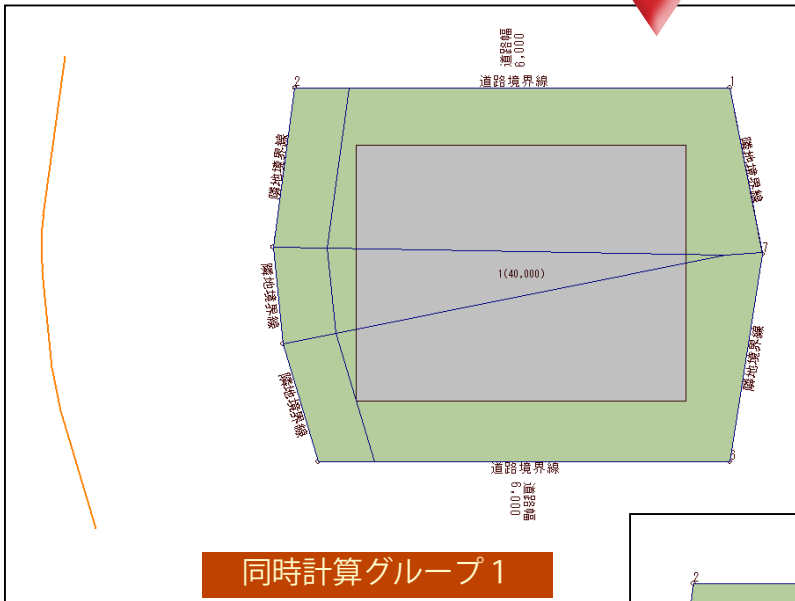
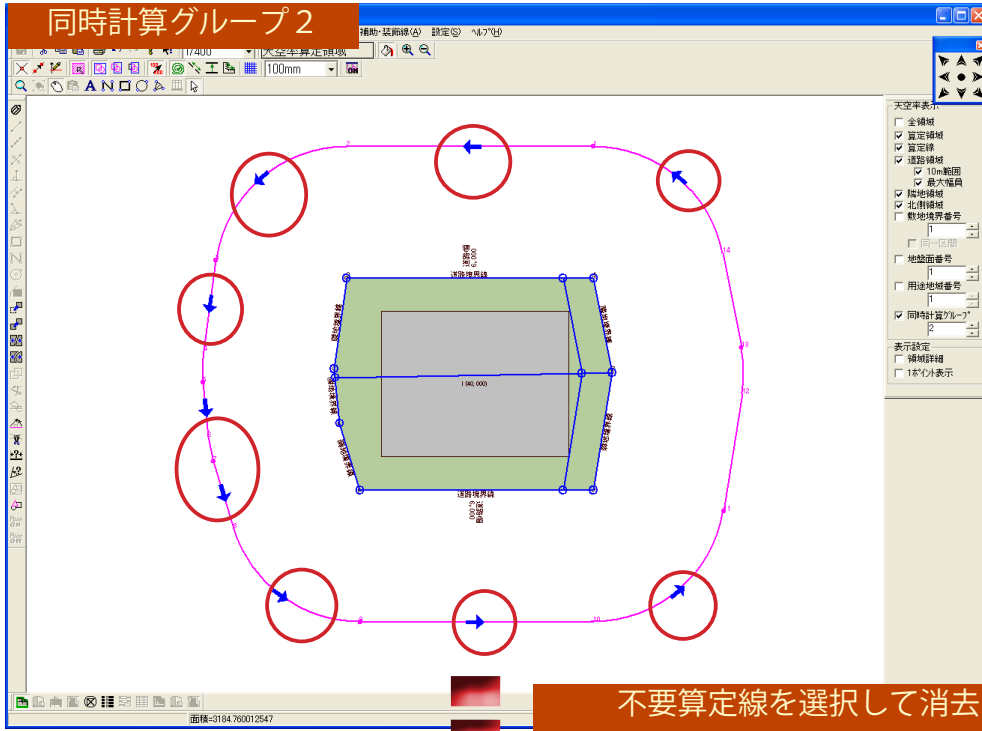


3) 「天空率算定領域」で「隣地境界発生」欄「全境界 - 一の隣地」ボタンを押し領域を発生します。

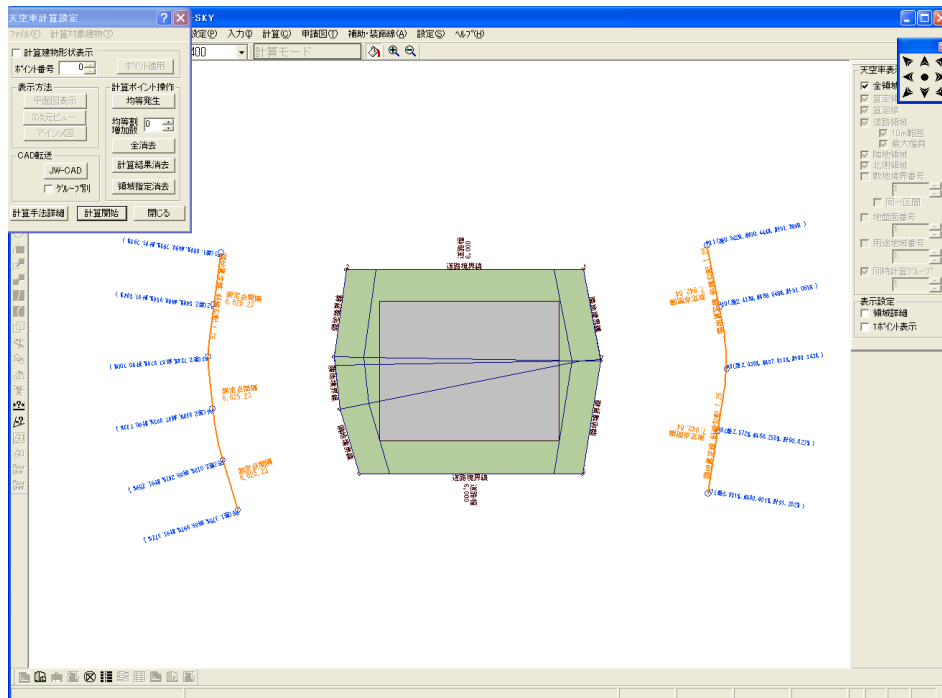


4) 画面右側「全領域」のチェックを解除し、「同時計算グループ」にチェックを入れます。本例の場合、「例題2」に示す A~C、D~E の2グループそれぞれに敷地を包括した算定線が発生しています。それぞれの領域に対応した算定線を残します。

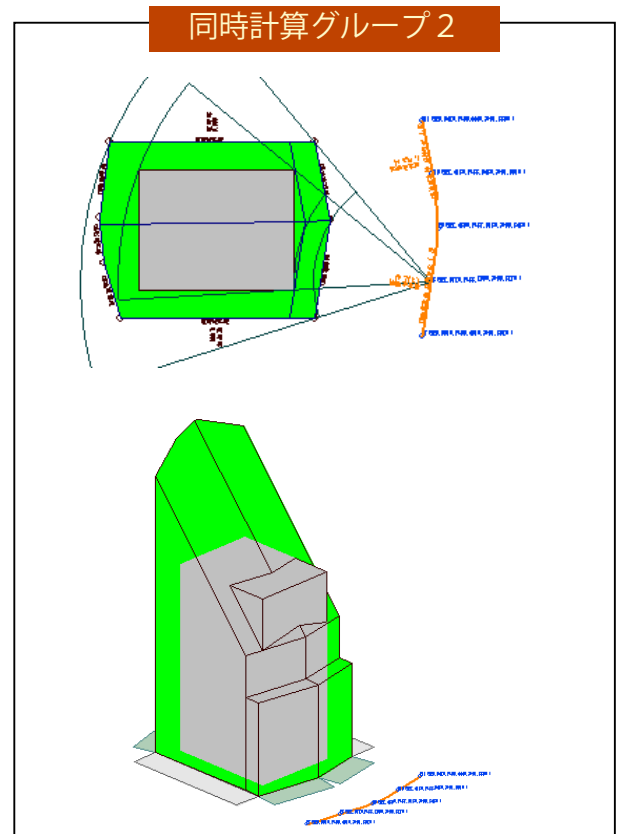
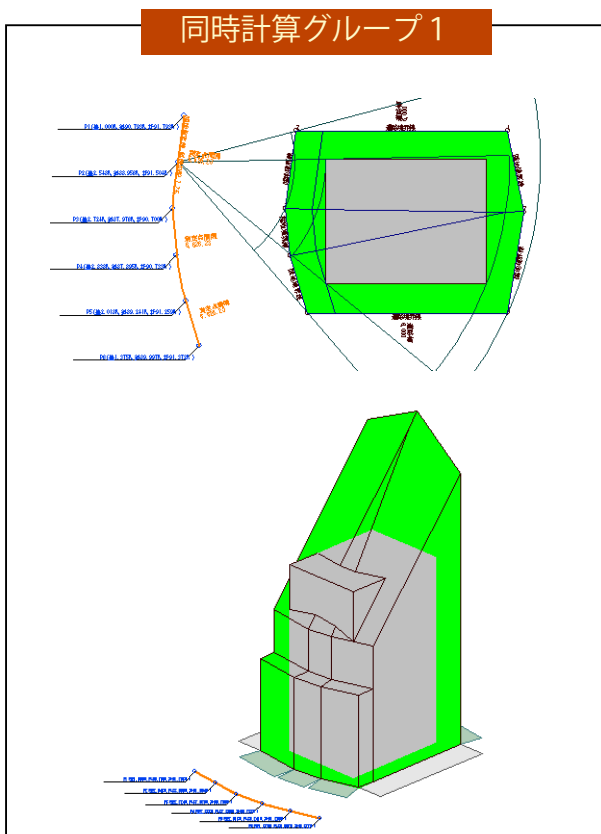




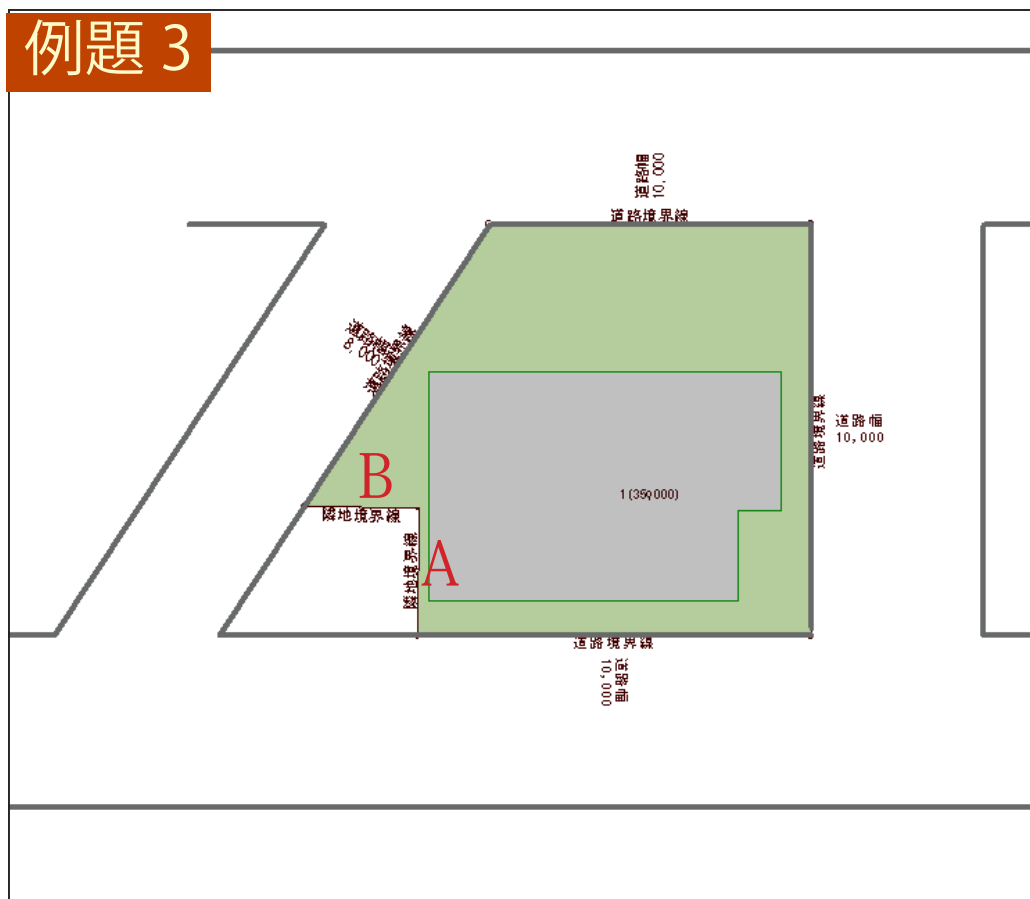
- 5) 「計算」 - 「天空率」で均等発生をおこない、天空率計算を実行します。天空率計算時には、4)で解除した「全領域」のチェックを再度ON(チェック有)状態にします。



- 6) 「図法」 - 「天空率算定チャート図」よりそれぞれの領域の任意の算定ポイントを指定し、アイソメ図、全天図等で適合領域および形状を確認します。(確認を行う際は、「全領域」のチェックを解除し、同時計算グループごとに表示することを推奨します。)

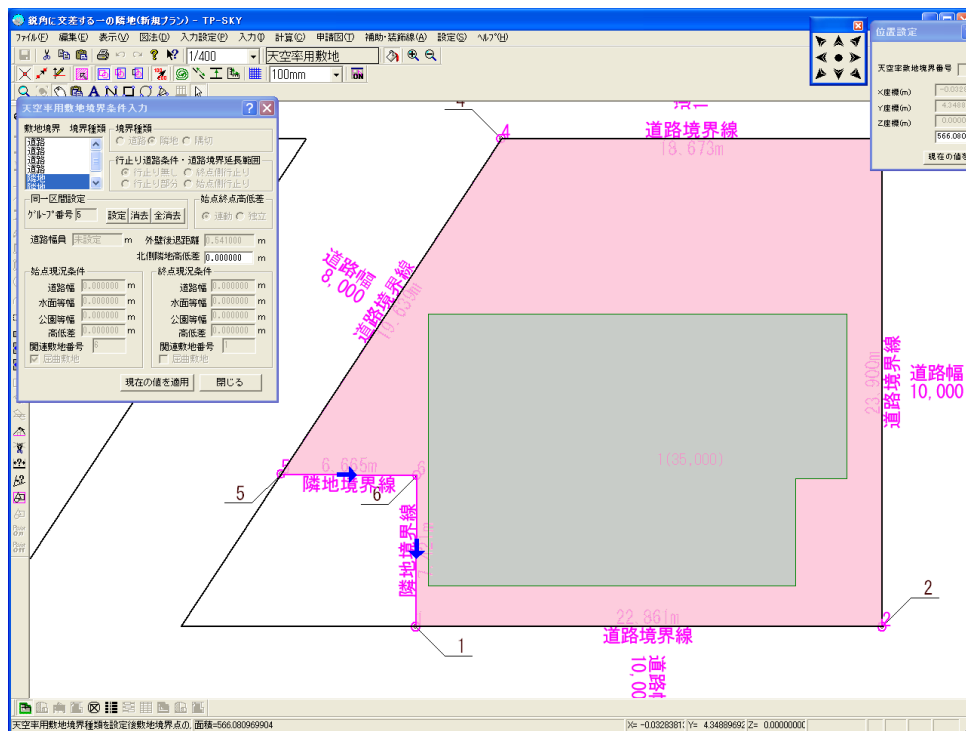


例題 3

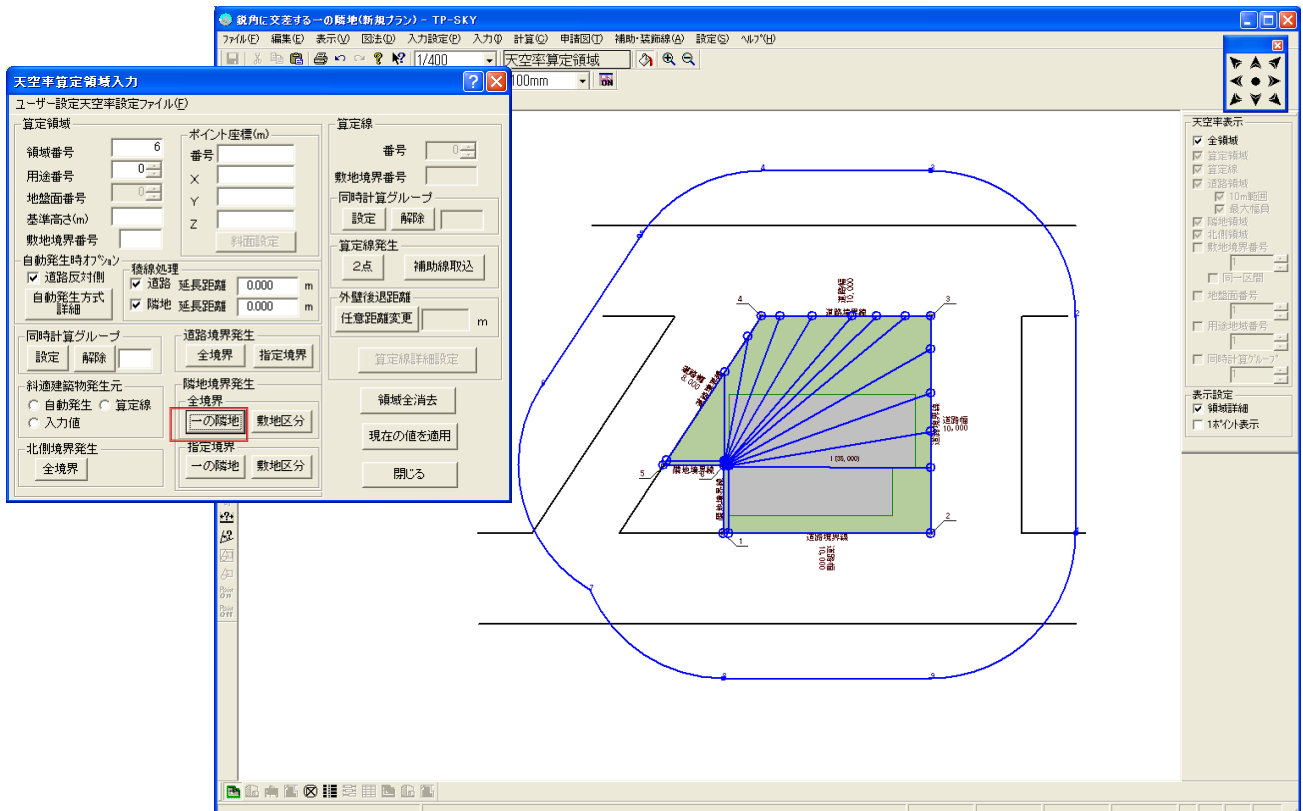


「一の隣地」方式では連続した隣地境界線であれば、上図に示すA・Bのような直角状の境界線でもまとめることができます。本例では入隅状での隣地算定線について考察します。

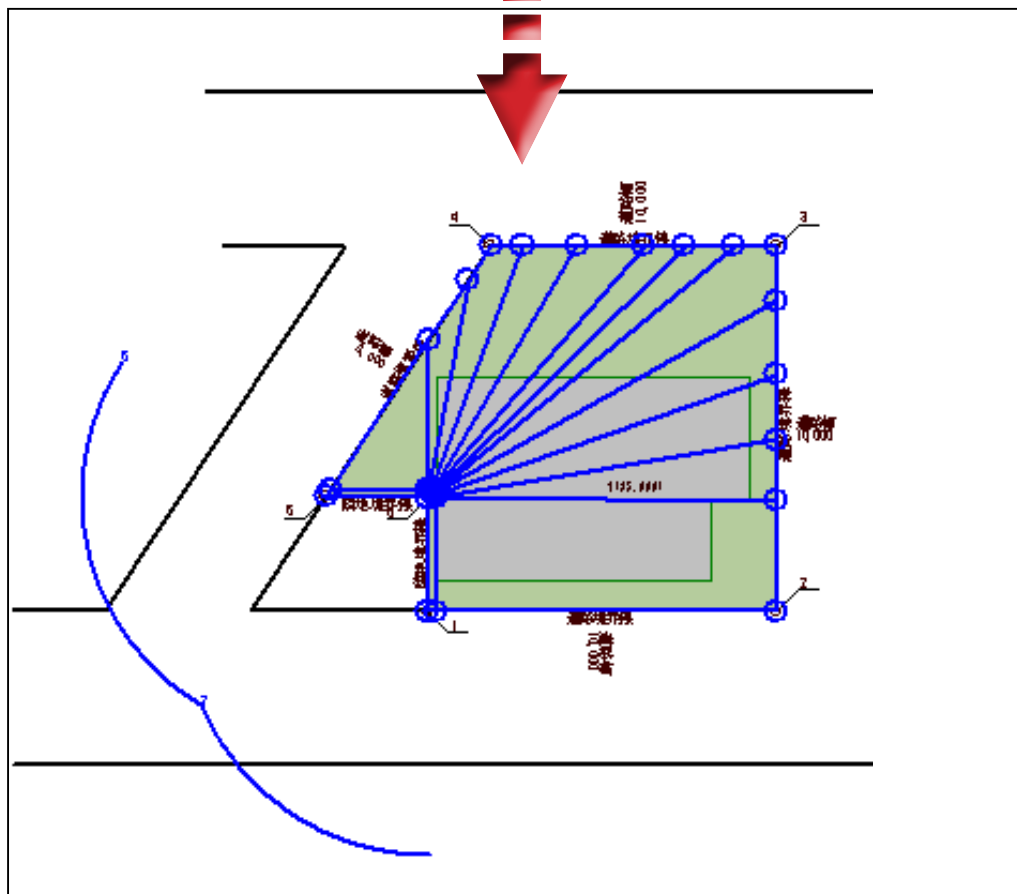
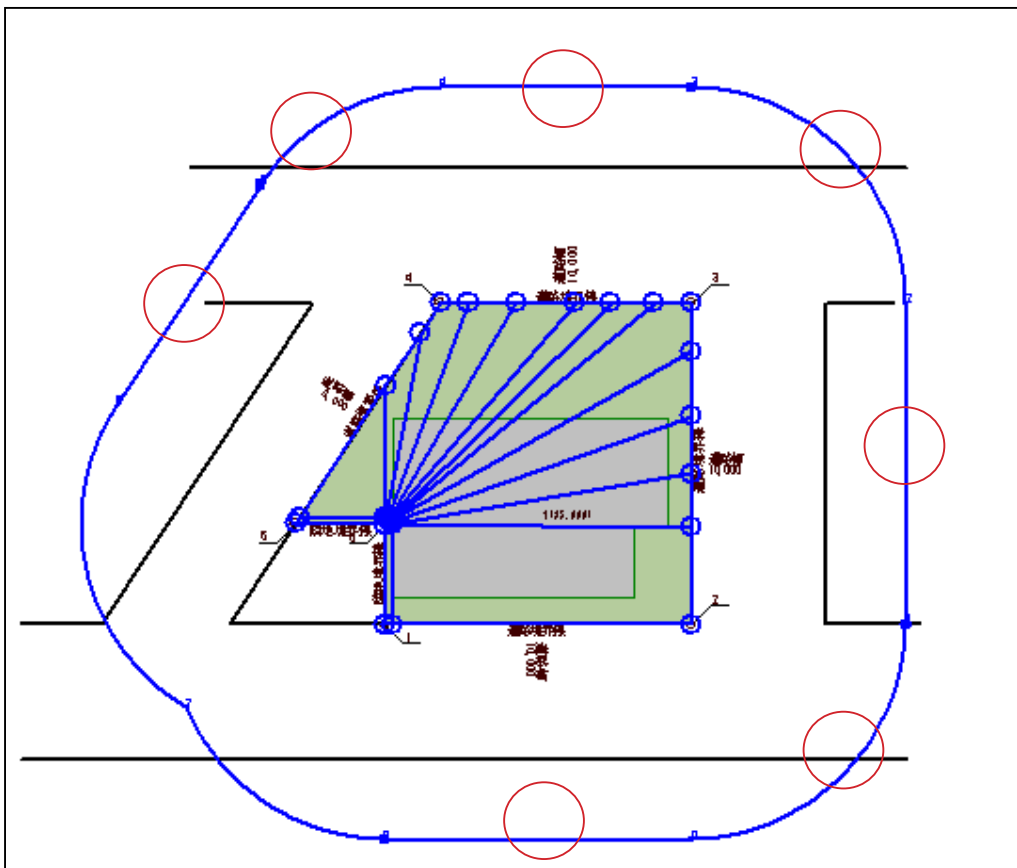
- 1) 「天空率用敷地」で同一区間処理をする隣地境界線を< Shift + クリック >で同時選択状態にし、ダイアログボックス「設定」ボタンで同一区間設定をします。



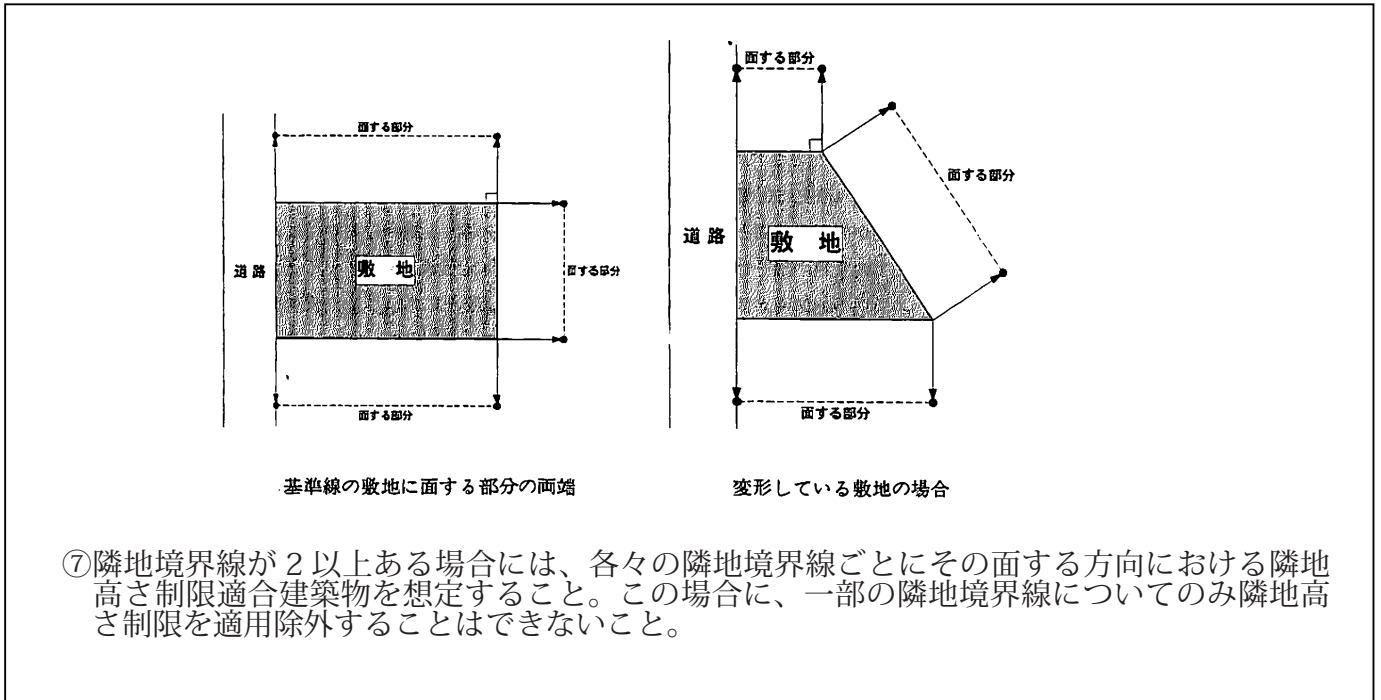
- 2) 「天空率算定領域」で算定領域を発生します。「隣地境界発生」欄「全境界一の隣地」を選択します。



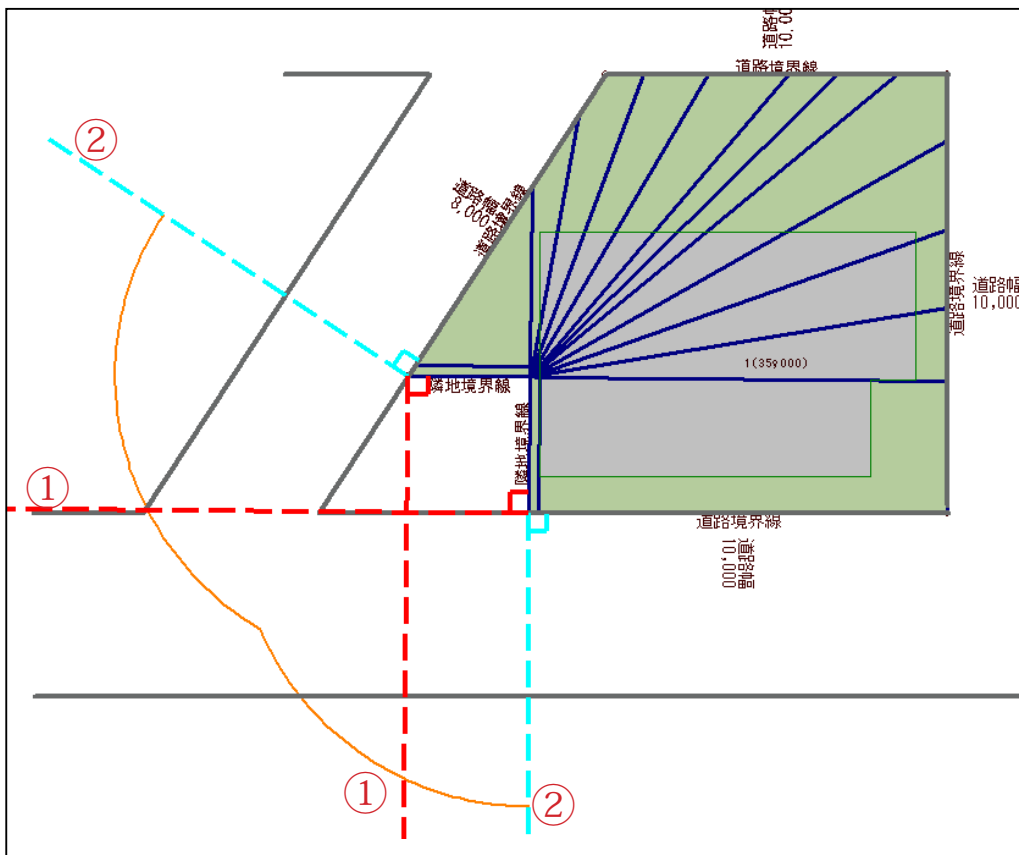
3) 不要な算定線を消去します。ここではまず、当該隣地境界線に関係のない部分から削除していきます。下図に示す赤○印から消去します。



- 4) 残った当該隣地境界線の算定線については、まず以下の図を確認します。これは「平成14年建築基準法改正の解説（編集 国土交通省住宅局市街地建築課）」で図示された隣地算定位置の解説です。



例題に戻り、上図に則つると隣地算定線の端部は下図①（赤破線）に示すように交差した方向となり、確定できなくなる問題が生じます。よって、このような場合、②（水色破線）に示す隣の境界からの垂線方向までの位置で算定線端部を確定します。



5) 計算 - 天空率より天空率計算を行います。計算結果が出力されたら「図法」-「天空率算定チャート図」より任意のポイントを入力し、「アイソメ図」より手適合領域の形状を確認します。

